

防災の取り組みは

矢野隆行

問 湖南広域行政組合火災予防条例が改正され、住宅に住宅用火災警報器等の設置が義務付けされたが、この指導は。

①この条例の市民への啓発は。

②通所介護施設で設置さ

防火指導を今後も行っていく

総務部長

答 ①市広報ならびに湖南広域行政組合広報で掲載することにも、湖南消防東署と生活安全課が連携しながら地域自主防災の指導啓発時や防火指導時に地域住民に指導していく。

②東署の事業所点検時に防火施設の確認と指導を行っている。

③防火訓練はそれぞれの事業所等で自主的に計画を樹立し、実践している。要請等があれば指導啓発に出向き、防火訓練の指導を行っている。

れていない事業所への指導は。

③特別養護老人ホーム、通所介護支援事業所の防火訓練はどのような計画か。



火災警報器

「まちづくり観光」の展開は

中島一雄

問 平成17年第2回議会

で野洲市の理念（人権・環境・協働）に融合する観光振興・体験型観光の

新しい観光資源の創出に努める

環境経済部長

答 提案は本市の重要な部分であり、市へのリピーターの増加につながるものと確信している。平成17年度年12回のハイキングを支援、来訪者には史

跡・祭り見学・名産品を食へ農産物が買える企画、来訪者と地域住民、商業者が交流できる機会を作った。また観光資源を有効に活用している事業とタ

地球温暖化対策は

問 野洲版地域ISO楽々

（らくらく）エコ・トライの現在の進捗状況及び今後の展開と市が認証登録しているISO14001との関連は。

バイオマス温水プール 導入早急に検討 政策推進部長

答 「楽々エコ・トライ」

また木質バイオマスエネルギー利用の供給先を総合体育館温水プールとし可能性調査を実施されたと聞いているが導入時期は。

6月8日現在応募状況合計830人（世帯）の応募。ISO14001は次のステップへ移行していく工夫また経済的な措置を考えている。バイオマスの温水プール導入について早急に検討したい。

光」を提案している。

改めて行政としての「観光」の位置づけと今後の観光資源創出の考えは。



イアアップ、来訪者がある施設にPRパンフレットを設置。マスコミ等へ有効な情報発信を行い、市内への誘客促進に努めた。今後も事業の運営や組織の充実等を支援して新しい観光資源の創出に努める。

※バイオマスエネルギー：生物群をエネルギー源として利用する方法

サポートプランでもう1箇所を整備計画

市民健康福祉部長

答 ①現在2園で一時預

かり保育を行っているが、子育てサポートプランに

よりもう1箇所整備を計画。②今後9月30日まで状況を確認しながら申告

漏れがないようにする。

③児童休業制度の定着、再雇用制度の導入。

また各種制度の利用しやすしい環境づくりをめざし、広報・啓発に努める。



野洲市全景

JR篠原駅の 周辺基盤整備は

林 克

欠である。

問 篠原駅の駅舎改築も着工に向け本格的な動きが始まり、地域住民は大きな期待を寄せている。田園交流基盤整備事業における道路整備も進み市民はもろろんのこと、近隣住民にとっても利便性の高い道路となり、駅舎と結ぶ道路整備は不可

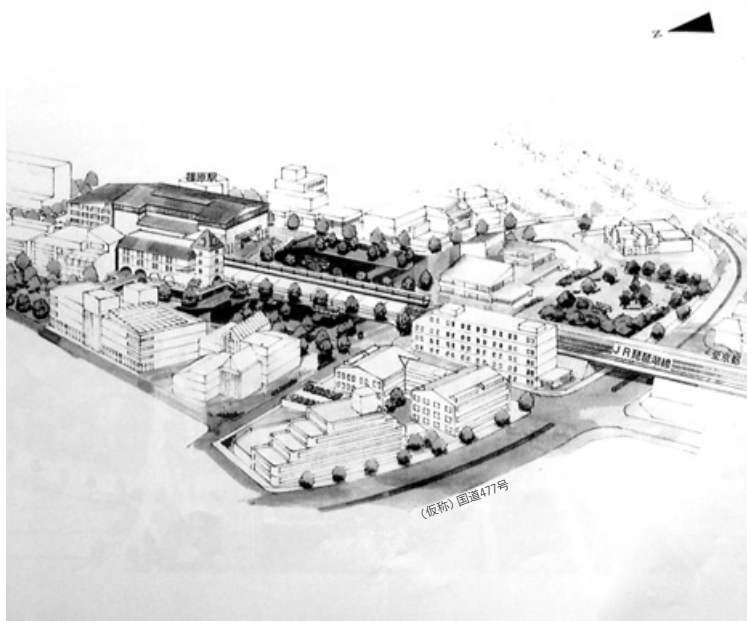
県立養護学校の移転に伴う駅舎周辺の高木、小南地先の都市基盤整備と国道477号の整備構想

は。



地元意見と調整

都市建設部長



今後の整備に期待

答 駅舎橋上化については平成22年度着手に向け取り組みを進めており、駅舎南側に改札口ができることになる。

アクセス道路については停車場的な道路、県道の拡幅、国道477号のバイパス等が想定される。周辺まちづくりとの整合性を勘案し、周辺地域の意見を聞き、ルート案を作成し、決定したい。

高木地先の公共施設未整備地区については、内部調整を進めているところであり、整理した後、市の考えを説明する。

野洲病院の小児科 日曜日診療の存続を

小菅 六雄

問 滋賀医大が小児科医師の派遣中止を表明したことにより日曜日の小児科診療が廃止されかねない事態となっている。

これまで野洲病院や行政の努力で実施されてきたもので、年間約3千人の利用がある。地域医療の拠点として重要な役割

を果たしており、市一体となり、医師派遣の継続

と診療の存続に努力すべき。



市民の不安解消へ 存続を働きかける

市民健康福祉部長

影響は大きく、地域医療の後退につながる。野洲病院に存続の取り組みを要望し、滋賀医大に

働きかける。も医師派遣継続をお願いした。日曜診療存続へ、病院をはじめ関係機関に

狭くて危険な踏切の拡幅を

問 柿ノ木原踏切（篠原小学校通学路）や新踏切（祇王小学校通学路）は、

鉄道敷に歩道がなく危険。国土交通省は、踏切の安全対策について、「周

辺の踏切閉鎖を条件にすることなく危険踏切の拡幅を行うよう」との通達を出している。市はJR西日本に、安全対策を強く働きかけるべきである。

JRに理解・協力を求める

都市建設部長



柿ノ木原踏み切り（篠原小学校通学路）

答 安全な状態とは言えない。JRに歩道部分の拡幅について理解と協力を求める。当面の対応として、歩行者部分について、着色等の措置により安全確保を協議する。

その他の質問

問 憲法と内心の自由を侵す教育基本法の改定は行うべきではない。

答 今後の審議を慎重に見守りたい。

問 イオンの24時間営業を規制すべき。

答 文書で申し入れをしている。